

# 人生ハンド仏句

第112号

H. 23. 7. 1

(毎月1日発行)

今を生きる

住職 谷川寛俊

我々は極楽浄土に住んでいる。と言っても誰も本気にしないであろう。極楽浄土とは死なない生命のある所。安楽な生活のできる所。自主自由に振る舞える所。そしてその三つの願いが、安全に守られている所である。それは万人の願いであるが、不幸にして叶えられていない。しかし、諦めるのはまだ早い。みんなが同じ希望を持って、しかも選ばれて生まれて来て、それを得よう努力をしている。「幸福は天よりも降らず、地よりも湧かない。」自分で作りだし自分で楽しむものである。幸福とは何か。いろいろ種類はあるが、結局は満足することが幸福であると思う。夫や妻に満足し、職業や境遇に満足し、親に、子に、兄弟姉妹に、朋友知己

に満足し、この世に文句の付けどころがない。しかし、実際はそううまくいかない。だから人は皆不満を持っている。にもかかわらず、満足の得られる道を求めようとしない。その人の不幸は、不満の原因を知らないところにあるようだ。人と人の和合を傷つける原因に金銭の絡んでいる場合が多い。金さえあれば何でもないことが、無いために悶着の起こることが少なくない。お金儲けの秘訣は、世の中に役立つ人間になることである。役に立つとは、智慧と技能と勤勉と誠実を身につけることである。その条件の揃わない者が、欲だけ大きく持っているとお金の不幸を大きくする。金銭があっても使い方が下手では幸福が逃げていく。無駄遣いを自分だけの楽しみにお金を使う者は、へたくそだと言われている。他を利することに依って、己の利益を図り親しい者、親しくない者、いず

「人生ハンド仏句」と打ち込んで頂けば、ホームページにつながります。

編集・発行  
玉蓮山 真成 寺  
編集部 谷川久仁子  
TEL・FAX 0765-22-2268

れも和合第一に努める者は必ず満足が得られる。

この様な立派な精神を育て上げ、磨き上げる為に必須条件として、私達は信仰心を持つ必要がある。その信心の中から靈験奇跡と御利益が授かり、そして、ご守護が現われて、自分の力以上の働きが出来るようになり、和合の精神が美しく実ってくるのであります。人はこの世を楽しく生きることを考えなければ損である。真の人生は、昨日でもなく明日でもない。今日、今の時間だけが確かに自分のものである。毎日を楽しむには、愛情を持って人に接するに限る。要するに楽しみはこの世に山ほどある。

その全部を楽しむ人になれば、世界の平和・経済の安定。そして自らの満足が決定するのである

(東京にて、恩師の講演会の要旨)

本当の安心は  
生き通しのいのちに目覚めること

